

神奈川県小田原市

【テーマ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / **その他（遊休地の利活用）**

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / **上下水道** / 河川 / 港湾 / **遊休施設** / その他（ ）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / **その他（賃貸借等）**

遊休地の利活用

水道発祥の地として石碑を立て、水道事業のPRを行っている、約5,000㎡の遊休地において、市民をはじめとした来訪者が気持ちよく利活用できる形で賃貸借等で民間事業者によって利活用の提案を受けたい。

①解決したい課題

場所：小田原市清水新田217-7ほか15筆 面積：約5,000㎡
 用途地域：市街化調整区域 酒匂川洪水浸水想定区域(想定最大規模5～10m未満)
 昭和47年度頃、水源地としての機能を廃止した以降は、自治会に対して地域行事等で無償貸出しているほか憩いの場となっている。近隣住民に駐車場として一部を有償貸出している。
 また、「水道発祥の地」石碑を設置しており、水道事業のPRを行っている。
 水道事業として所有している当該地の将来形が定まっておらず、広大な面積を保有しながらも利活用できていないため、有効活用方法を探りたい。
 これまでは賃貸借が望ましいと考えていたが、売却についても考慮していきたい。

【当市の人口・給水人口など】

人口186,464人（令和7年1月1日時点）
 給水人口171,208人（令和5年度）
 給水戸数 77,731戸（令和5年度）
 普及率97%
 ※一部地域県営水道



②課題解決の方向性等

【現時点で民間事業者を求めるもの】

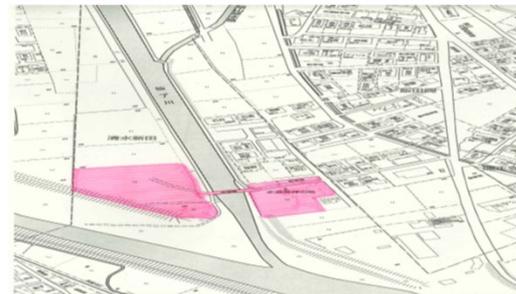
- ・遊休地となっている当該地の効果的な利活用に関心があり、現状の利活用に配慮しながら、提案をいただける事業者を見つけたい。
- ・市民をはじめとした来訪者の皆様が気持ちよく利活用できる場としたい。



③課題解決のイメージ・効果

- ・民間企業等が持つ資産・創意工夫・ノウハウを活かした整備・管理運営により発生する事業収入から、その一部を水道事業への収入としたい。
- ・市民をはじめとした来訪者の皆様の安らぎと憩いの場としたい。

神奈川県管理の仙了川を挟んだ両側の土地を所有し、晴れた日には富士山を望むことが出来る。
 また、両側の土地を結ぶ橋りょうは、昭和10年頃に架橋したものであり、6t荷重の通行制限がある。



その他

